

第 18 回全国大会・研究発表大会 学生研究奨励賞 受賞記

神奈川大学大学院 海野拳市

この度は、学生研究奨励賞という形で研究発表をご評価していただき、大変光栄に 思います。情報システム学会ご関係者および大会参加者の皆様に、この場をお借りして厚く 御礼申し上げます。

今回発表させていただいた「要件定義工程における進捗計画の立案方法の提案」は、要件定義の問題の一つである進捗管理について取り扱った研究です。

要件定義はステークホルダーの曖昧な要求を抽出し、システムに必要な要件を整理し、実装可能な仕様に落とし込む重要な段階です。また工程遅延の半数以上が要件定義の原因であるという調査があります。しかしこの要件定義には体系的な進捗管理手法が存在しないという現状を踏まえ研究を始めました。

本研究では要件定義の進捗を表すモデルを作成し、仮想的に想定したプロジェクトを用い研究を進めて参りました。モデルにはプロジェクトマネジメント、要求工学、信頼性工学の手法を取り入れています。現在は仮想のプロジェクトを想定していますが、実際のプロジェクトに利用するためには妥当性の検証が今後必要となると考えております。

発表後は参加者の皆様より本研究の進展に繋がる様々なご質問・コメントをいただきました。これからも一層研究に専念していきます。今回は誠にありがとうございました。